

## 【桜井市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒一人ひとりが自分のペースで学ぶことができる「個別最適な学び」と児童生徒同士がリアルタイムで情報を共有したり、共同作業を行ったりする「協働的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子どもたちが将来社会で必要とされる力を身につけることを目指している。

#### 2 GIGA 第1期の総括

児童生徒が自ら学び、考える力を育むための環境が整備され、オンライン授業やデジタル教材の活用が進み、学びのスタイルが大きく変化した。これまでの教室での一方通行の授業から、双方向性のある学びへとシフトしたことは大きな成果である。

学校内の Wi-Fi 環境が整備されることで、児童生徒はいつでもどこでも学ぶことができるようになった。教員自身もデジタル技術を活用した授業を展開できるようになり、教育の質が向上した。

児童生徒は多様な学びの選択肢を持つことができ、自分のペースで学習を進めることが可能となった。特に、特別支援教育においても、ICT を活用した個別最適な学びが実現されるようになり、多様なニーズに応じた支援が行われている。

教員の ICT スキル向上には時間がかかるため、さらなる研修やサポートが求められる。また、端末の劣化や日々の持ち帰りによる動作不良、故意でない破損等も多く発生するなど課題も残った。

#### 3 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用は、児童生徒にとって欠かすことのできないものとなっている。オンライン教材やアプリケーションを活用した個々の学習スタイルに応じた指導、一人ひとりの理解度や進度に応じた個別学習、コミュニケーションや協力の促進、保護者と学校との連携の強化、ICT を効果的に活用できるための定期的な研修等は、教育現場において大きな効果をもたらすと考えられる。今後も引き続き、教育環境の整備と ICT 活用の促進が必要である。